

## 第6回 全九州高等学校総合文化祭 佐賀大会

### 書道部門実施要項

- 1 目的 九州地区高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することと、書表現の一層の向上を図り、高校生の書道文化への関心を高めることを目的とする。
- 2 主管 九州高等学校文化連盟書道専門部、佐賀県高等学校文化連盟書道専門部
- 3 参加資格 九州各県高文連加盟校に在学中の者で各県から推薦された生徒及び作品（各県10名、合計80名）
- 4 日程 令和4年12月9日（金）  
12:00～13:00 受付（佐賀市文化会館2階 大ホール）  
13:00～14:40 総合開会式（佐賀市文化会館2階 大ホール）  
令和4年12月10日（土）  
8:30～9:10 受付・準備（佐賀女子高等学校 旭学園第一体育館）  
\*8:30 以前の館内への入場はできません。  
9:10～12:20 席上揮毫大会（佐賀女子高等学校 旭学園第一体育館）  
14:10～16:30 生徒交流会（佐賀女子高等学校 さつきホール・ラウンジ）  
令和4年12月11日（日）  
9:30～10:45 作品講評会（佐賀県立美術館 美術館ホール）  
11:00～12:00 表彰式・閉会式（佐賀県立美術館 美術館ホール）  
12:00～15:00 席上揮毫大会作品鑑賞（佐賀県立博物館3号展示室）
- 5 席上揮毫大会 (1) 日 時 令和4年12月10日（土） 9:10～12:20  
(2) 会 場 佐賀女子高等学校 旭学園第一体育館  
〒840-0027 佐賀市本庄町本庄1 2 6 3 番地 TEL: 0952-24-5341
- 6 生徒交流会 (1) 日 時 令和4年12月10日（土） 14:10～16:15  
(2) 会 場 佐賀女子高等学校 さつきホール・ラウンジ  
〒840-0027 佐賀市本庄町本庄1 2 6 3 番地 TEL: 0952-24-5341  
(3) 内 容 有田焼陶板作品制作  
(4) 材 料 費 一人あたり 1000 円  
※県代表者で取りまとめの上、当日受付にお渡しください。
- 7 作品講評会 (1) 日 時 令和4年12月11日（日） 9:30～10:45  
(2) 会 場 佐賀県立美術館 美術館ホール  
〒840-0041 佐賀市城内1-15-23 TEL:0952-24-3947  
(3) 内 容 書道展作品の講評  
講師 佐賀大学 准教授 正寶 直美 先生
- 8 閉 会 式 (1) 日 時 令和4年12月11日（日） 11:00～12:00  
(表彰式含む) (2) 会 場 佐賀県立美術館 美術館ホール  
〒840-0041 佐賀市城内1-15-23 TEL:0952-24-3947  
(3) 内 容 表彰式（席上揮毫大会入賞生徒）  
閉会式（次期開催県（大分県）あいさつ）  
席上揮毫大会作品鑑賞（12:00～15:00 佐賀県立博物館3号展示室）
- 9 書 道 展 (1) 会 期 令和4年12月6日（火）～12月11日（日）

開館時間 9:30～18:00 (入館は17:30 まで) \*最終日は15:00 まで

- (2) 会 場 佐賀県立美術館 2号展示室  
(佐賀県優秀作品・席上揮毫大会作品展示・佐賀県立博物館 3号展示室)  
〒840-0041 佐賀市城内1-15-23 TEL:0952-24-3947

- (3) 書道展作品規格 ①縦作品・横作品 縦横自由

仕上がり寸法 16平方尺(14400c㎡)以内。  
但し、縦は8尺(240cm)、横は6尺(180cm)以内。

- ②篆刻・刻字 縦横自由

仕上がり寸法 170cm×55cm 以内。

- (4) 種 別 漢字、仮名、漢字仮名交じりの書、篆刻、刻字、その他。

- (5) 様 式 ①額装、軸装(仮巻き不可)、パネル。

②搬入後、直ちに展示が出来る状態であること(額装・パネルには、ワイヤーをかける金具をつけ、さらに紐もつけること)。また作品が剥がれないよう装丁すること。

- (6) 出品点数 各県代表10点(8県合計80点)。

- (7) 表 彰 各県代表作品全員に賞状(九州高等学校文化連盟賞)を与える。

- (8) 搬 入 令和4年12月5日(月) 13:00～14:00の指定された時間帯に、各県で一括して下記搬入先へ搬入する。業者に期日及び時間帯を指定してください。【厳守】

※13:00～13:30 福岡・佐賀・大分・長崎

13:30～14:00 熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

※他部門とまとめて搬入される場合や、時間帯に不都合がある場合は搬入出担当(佐賀西 松尾)までご連絡下さい。

※各学校で書道部門出品票・作品梱包表示票(書道様式②)のコピーを3枚作品裏面右上および外箱の表裏に必ず添付して下さい。

※破損がないように必ず梱包をしてください。

※作品の取り扱いには慎重な注意を払いますが、不慮の事故等について主催者は、その責任を負わないものとします。

※書道様式②のコピーを2枚各県高文連事務局あるいは専門委員長(事務局)に提出して下さい。

- (9) 搬 出 令和4年12月11日(日) 16:30～17:30の指定された時間帯に、各県が指定した業者が佐賀県立美術館で作品を受け取ること。

※16:30～17:00 熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

※17:00～17:30 福岡・佐賀・大分・長崎

【搬入先】 佐賀県立美術館・博物館

〒840-0041 佐賀市城内1-15-23 TEL:0952-24-3947

【搬入出 問合わせ先】

〒840-0041 佐賀県佐賀市城内1丁目4-25 佐賀県立佐賀西高等学校  
書道展(搬入出)担当 松尾 洋一

TEL:0952-24-4331 FAX:0952-25-7041

E-mail:matsuo-yoichi-a@education.saga.jp

- 10 参加・出品申込書
- (1) 各県専門委員長は『全九州高総文祭推薦書』（共通様式①）に必要事項を記入の上、**11月1日(火)までに各県高文連事務局**に提出。
  - (2) 参加校は『部門共通参加申込書』（共通様式②）に必要事項を記入の上、**11月11日(金)までに各県高文連事務局**に提出。
  - (3) 参加校は『書道部門参加申込書』（書道様式①）、『書道部門出品票・作品梱包表示票』（書道様式②）、『展示作品意図カード』（書道様式③）に必要事項を記入の上、**11月11日(金)までに各県専門委員長（事務局）**に提出。

**【記入上の注意】**

- 書道様式②・③の作品題名は統一して下さい。
- 学校名は〇〇県立（市立）〇〇高等学校，私立の場合は〇〇高等学校と略さずに記載してください。
- 写真容量は**3MB以上（トリミングなし）**にして下さい。
- 書類はデータと紙媒体で送ってください。

- (4) 各県書道専門委員長は、下記（ア）（イ）（ウ）（エ）（オ）（カ）（キ）を九州高等学校文化連盟書道専門部（佐賀大会事務局）へ送付。データも合わせて提出。
 

（ア）『書道部門参加申込書』	（書道様式①）
（イ）『出品票・作品梱包表示票』	（書道様式②）
（ウ）『書道展 展示作品制作意図カード』	（書道様式③）
（エ）『行事参加申し込み一覧表』	（書道様式④）
（オ）『役員・審査員報告書』	（書道様式⑤）
（カ）『役員・作品運搬報告書』	（書道様式⑥）
（キ）USB データ（生徒作品写真含む）	

（ア）（イ）（ウ）（エ）（オ）（カ）（キ）の、各県書道専門委員長から佐賀県への提出〆切日：11月18日(金) 厳守

11 著作権に関する取り扱い

作品に関しては、第三者の著作権等の権利を侵害することがないように十分に注意してください。万が一、権利の侵害から生じる諸請求が発生した場合には、出品高校・県がその責任を負い、大会事務局は一切の損害賠償等の責任は負いません。

12 個人情報に関する取り扱い

大会実行委員会が、参加申込書、総合開会式や部門別行事出演に関する調査および開催に係る運営調査による取得した個人情報（大会参加者の氏名、所属学校名、学年および性別等）は、大会に関する情報提供、PRおよび記録のため、実行委員会が製作する以下の出版物および作品表示に利用します。

- ①大会作品集 ②各部門プログラム ③総合開会式プログラム ④大会記録映像および画像  
⑤出品目録 ⑥交流会冊子 ⑦作品キャプション ⑧本県高文連HP 等

なお、個人情報は、本人からの申し出により、出版物等へ利用しないことがあります。

13 一般観覧について

作品展以外の生徒交流会・揮毫大会・講評会・表彰式・閉会式については、大会関係者のみとし、無観客開催とします。

14 健康管理・事故防止について

期間中の交通事故や健康管理に十分留意する。必要に応じ、常備薬や健康保険証のコピーを持参する。

15 新型コロナウイルス感染症予防対策（お願い）

- (1) 下記①～④の条件に該当する人は県境を越えた移動並びに大会参加を控えてください。

またその際は、所属長をとおして佐賀県高等学校文化連盟事務局（Tel0952-25-3303）

及び、九州高等学校文化連盟書道専門部（佐賀大会事務局） 田中皇洋（16 問い合わせ先参照）まで連絡してください。

- ①37. 5度以上の発熱がある。
  - ②咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、味覚・嗅覚障害等の症状がある。
  - ③新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触がある。
  - ④過去2週間以内に政府から入国制限、入国後観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び、該当在住者との濃厚接触がある。
- (2) 大会参加中はマスクを常時着用し、咳エチケットを徹底してください。
- (3) こまめな手指の洗浄・アルコール消毒にご協力をお願いします。
- (4) 大会期間中は、随時検温と体調チェックを行います。
- (5) 佐賀県及び九州県内における感染症拡大の状況によっては、大会の可否も含めた大幅な内容変更を行う場合もあります。あらかじめご了承ください。

#### 16 問合せ先

〒840-0804 佐賀県佐賀市神野東4丁目12-40 佐賀県立佐賀商業高等学校  
九州高等学校文化連盟書道専門部（佐賀大会事務局） 田中 皇洋（たなか こうよう）  
TEL : 0952-30-8571 FAX : 0952-34-1042 E-mail : [tanaka-koyo@education.saga.jp](mailto:tanaka-koyo@education.saga.jp)

## 生徒交流会

- 1 日 時 令和4年12月10日(土) 14:10~16:30 (受付14:30~)
- 2 会 場 佐賀女子高等学校 さつきホール(1F)、ラウンジ(1F)  
〒840-0027 佐賀市本庄町本庄1263番地 TEL: 0952-24-5341
- 3 趣 旨 「有田焼陶板作品」  
各県代表生徒10名(8県80名)が、10班(1班8名)に分かれて有田焼陶板作品制作に挑戦します。
- 4 日 程 14:30~14:40 受付 \*材料費は各県でまとめて納めてください。  
14:40~14:50 自己紹介 名刺交換  
14:50~15:05 開会行事  
15:05~15:55 「有田焼陶板作品」制作  
15:55~16:10 閉会  
16:10~16:15 諸連絡  
16:15~16:30 更衣・解散
- 5 当日について

### 【当日持参するもの】

①陶板制作用の大筆・小筆

【筆は陶板に書く際、陶板専用絵の具2色(黒:文字用、朝:押印用)につけて使用します。】

※墨をつけた筆でも可。

②書く文字を事前に考え、草稿を持ってきてください。

(紙面は縦20cm×横20cm)

③材料費(陶板代)1000円。

(※材料費につきましては県代表者がとりまとめのうえ当日受付にお渡しください。

その際、領収書をお渡しいたします。)

④名刺10枚(県・学校名・名前等)

### 【当日の服装について】

陶板専用絵の具(粉)によって汚れる可能性がありますので、揮毫大会のままお越しください。

【制作手順】 スクリーン及び各班一斉に行います。

### 【参考図】



陶板

縦20cm×横20cm

※交流会後、陶板を焼く工程に入ります。気候や湿度、絵の具の量によっては陶板にヒビ割れが生じることがありますのでご理解、ご承知の程よろしくお願いたします。また、その場合は対応させていただきます。

※なお、仕上がり後各県別に郵送いたします。割れ物ですのでもし何かありましたら事務局までご連絡をお願いいたします。

# 席上揮毫大会

- 1 日 時 令和4年12月10日(土) 9:10~12:20
- 2 会 場 佐賀女子高等学校 旭学園第一体育館  
〒840-0027 佐賀市本庄町本庄1263番地 TEL:0952-24-5341
- 3 参加資格 各県代表生徒10名(8県80名)
- 4 日 程 8:30~9:10 受付, 更衣, 揮毫準備  
9:10~9:40 開会式・あいさつ  
・佐賀県高等学校文化連盟書道専門部長 永田彰浩  
・佐賀県生徒代表(書道部門生徒実行委員長)  
・審査員紹介  
・各県生徒紹介  
・諸注意  
・課題配付  
9:40~11:40 揮毫  
(10:00~10:30 専門委員長連絡会:第一体育館小ホール)  
(10:40~11:10 審査員打ち合わせ会:第一体育館小ホール)  
11:40~12:10 提出準備, 作品提出, 後片付け  
12:10~12:20 閉会式  
・閉会の言葉  
・諸連絡  
12:20~13:00 昼食(旭学園第一体育館2階観覧席)  
13:00~13:20 作品鑑賞会  
13:20~ 生徒交流会会場へ各自移動(佐賀女子高校 さつきホール・ラウンジ)  
(13:30~審査)
- 5 作品規定 ①揮毫時間 2時間(作品選別, 押印を含む。準備, 片付けの時間は含まない。)  
②作品規格 a おおむね12,760cm<sup>2</sup>以内の面積で考えられる画仙紙であれば縦横自由。  
(例) ○1. 7.5尺(55cm)×7.5尺(232cm)  
○2. 3尺(70cm)×5.7尺(173cm)  
○3. 7尺(112cm)×3.7尺(112cm)  
b 篆刻は24cm×34cm(半紙)以内(縦横自由)。  
※必ず申請した大きさ(縦・横・角)で揮毫すること。申請後の変更は不可とする。  
※用紙は, 各自持参とする。(色画仙紙, 線を引いた画仙紙も可) 線引きは事前に引いたものにも書いても, その場で引いても良いが, その際は揮毫時間内に終了させること。  
※2枚以上の作品(聯様式も含む)は画仙紙に貼付して提出すること。
- ③課 題 課題は会場にて, 設定された揮毫開始と同時に配付する。  
次の部門ごとの課題の中から一課題選び, 揮毫する。  
【漢 字】(a)1字 (b)2字 (c)3字 (d)4字 (e)5字  
(f)7字 (g)10字 (h)14字 (i)五言絶句  
(j)七言絶句 (k)五言律詩 (l)七言律詩  
【仮 名】(m)短歌 (n)俳句  
【漢字仮名交じり文】(o)短歌 (p)俳句 (q)詩文《10字程度》

(r)詩文《20字程度》 (s)詩文《50字程度》

【 篆 刻 】漢字に準じる。

※ 課題とおりの文字数で揮毫し、題名を書いても構わない。また、課題(k)・(1)のみ、同一詩形に限り2課題を揮毫しても良い。

※ 漢字については、旧字体・新字体のどちらを使用しても良い。

※ 仮名部門のみ、漢字・仮名の交換可とする。(m)短歌・(n)俳句については、10課題までの揮毫を自由とする。

- 6 持参品 書道用具一式(用紙は各自持参。印、印泥なども含む。)、字典、筆記用具、着替え、新聞紙、雑巾、ビニール袋(用具等の片付用)、マスク等
- 7 審査等 審査は、揮毫大会終了後「審査員」8名によって行う。賞を「第1席」、「第2席」、「第3席」、「優秀賞」とする。
- 8 注意事項 ①揮毫時間中は、係職員以外のフロアー内立ち入り禁止。撮影で立ち入りが必要な場合は、各県1名(固定)とし、指定された時間内と場所(自県のみ)で許可をする。  
②筆、硯等を洗う場所はない。また、洗面所のそのための利用はできない。  
③揮毫時、床を汚さないよう十分配慮すること。フロアー保護のため、開催県でビニールシートを敷くのでその上で揮毫すること。  
④揮毫中の途中退席は認めない。(やむを得ない場合は除く)  
⑤【別紙1】「書道部門 席上揮毫大会確認事項」を熟読すること。

## 席上揮毫大会審査手順

- 各県専門委員長にて各県審査員1名を選出し、参加申込書にて提出する。
- 審査は非公開とし、審査会場への立ち入りは禁止する。
- 審査員8名は、各県作品10点中4点(合計28点)を選び、審査用紙に○印を付ける。但し、自県は審査対象外とする。
- 審査用紙の○印を集計し、各県上位4点を選び「優秀賞」以上を決定する。同点の場合は、他県7名の審査員で挙手により決定する。その際、「作品規定」に違反していないかチェックを行い、違反がある場合には順次入れ替えを行う。
- 「優秀賞」以上32点に「通し番号」をつけ、自県を除いた28点に「5段階」の得点を記入する。  
※ 5段階の目安

5	.....	3名(10.7%)	2	.....	6名(21.4%)
4	.....	6名(21.4%)	1	.....	3名(10.7%)
3	.....	10名(35.7%)			
- 「5段階」の得点を集計し、以下の賞を決定する。  
※ 各賞の名称とその数

第1席	.....	1作品(第1位)
第2席	.....	3作品(第2位~第4位)
第3席	.....	6作品(第5位~第10位)
優秀賞	.....	22作品(第11位~第32位)

上位より決定し、同点の場合は挙手により決定する。
- 上位10点を並べ、審査員全員で「課題」等に違反がないか確認を行い、最終決定する。(規定違反は優秀賞へ繰り下げ)  
※ 県の偏りは考慮しない。  
※ 著しい誤字・脱字が確認された場合は課題違反とし順次入れ替える場合もある。
- 審査員は10作品の講評を記入し、審査講評を行う審査員代表者(前年度開催:長崎県)に提出する。
- 審査の際、オブザーバーとして前年度開催県(長崎県)の専門委員長(または前年度審査員)が同席するが、直接審査には関わらない。ただし、決選投票において票数により順位が決定しなかった場合は審査員の同意を得て、オブザーバーを加えて順位を決定する。決選投票において票数により順位が決定しなかった場合は審査員の協議により決定方法を決め、順位を決定する。  
※ 審査を円滑に進行するため、開催県より数人の職員を審査補助員として配置する。審査補助員は、準備・集計・作品整理・作品並べ等の作業にあたる。

## 作品講評会 表彰式・閉会式

- 1 日 時 令和4年12月11日(日) 9:30~12:00
- 2 会 場 佐賀県立美術館 美術館ホール  
〒840-0041 佐賀市城内1-15-23 TEL:0952-24-3947
- 3 日 程 9:00~ 9:30 受付
- 【作品講評会】**  
9:30~ 9:40 開会の言葉  
講師紹介  
講師 佐賀大学 准教授 正寶 直美 先生  
9:40~10:40 書道展作品の講評  
10:40~10:45 閉会の言葉  
10:45~11:00 休憩
- 【表彰式・閉会式】**  
11:00~11:05 開会の言葉  
11:05~11:25 席上揮毫大会成績発表及び作品講評(長崎県審査員)  
入賞者及び作品紹介  
11:25~11:50 表彰  
書道展作品:大分県生徒代表(次期開催県)  
揮毫大会作品:第1席・第2席・第3席  
11:50~12:00 次期開催県代表生徒あいさつ(大分県)  
開催県お礼の言葉(佐賀県生徒実行委員長)
- 【席上揮毫大会作品鑑賞会】**  
12:00~15:00 佐賀県立博物館 3号展示室



## 【別紙1】 「書道部門 席上揮毫大会確認事項」

### 1 会場利用上のマナーについて

- 揮毫中の途中退席は認めない。(止むを得ない場合を除く)
- 筆洗いは禁止する。
- 手洗い場を墨などで汚した場合はきれいにふき取る。
- ウエットティッシュ等を持参する。

### 2 会場に持ち込めないもの

- 参考手本（指導者手本）  
※指導者が筆をとり添削する、参考を書くなどの行為も禁止。
- 事前に作った作品や草稿メモ  
※個人の創作ノート類、創作カード類、古典の切り貼りなど加工したものの参照は不可。  
事前練習への持ち込みも不可。

### 3 作品規格について

- 紙の大きさは、12,760cm<sup>2</sup>以内の面積とする。必ず申請した大きさ（縦・横・角）で揮毫する。  
申請後の変更は不可。  
※2枚以上の作品（聯様式も含む）は画仙紙に貼付して提出する。ただし作品は貼付する画仙紙の面積を超えないこと。（紙間も考慮すること）
- 用紙は、各自持参する。色画仙紙、線引き画仙紙も認める。  
※線引きは事前に引いたもの書いても、その場で引いてもよいが、その場合は揮毫時間内に終わらせること。

### 4 揮毫上の注意

- 揮毫時、床を汚さないよう十分配慮する。会場フロアの保護のためシートなどを敷きその上で揮毫をすること。
- 跡形の付いた下敷きの使用は禁止。(罫線を入れた下敷きに使う紙は、未使用のもの)
- 自分が書いた作品を下敷きにして書く行為は禁止。
- 吸い取り紙も新品とする。(反古紙の使用は不可)
- 課題は、課題通りの文字数で揮毫する。また、(k)五言律詩・(l)七言律詩のみ、同一詩形に限り2課題揮毫しても良い。
- 各種書体字典の持ち込み可。ただし、字典は市販されているもの(作例のないもの)に限る。
- 古典法帖は持ち込み可。ただし、法帖の極端な拡大および加工したものは不可。
- 題名があるものは書いてもよい。
- 揮毫時間(2時間)は選書・押印まで含む。

### 5 新型コロナウイルス対策について

- 体温チェックを行います。37.5度以上の発熱がある場合は、不参加となりますのでご了承ください。
- 生徒、職員ともにマスクの着用を原則義務とします。
- 用具の貸し借りは、極力避けるようにしてください。共用が不可避の場合、その都度除菌するなど対策をお願いします。

- ・ 参加生徒の保護者と常に連絡が取れるようにしてください。
- ・ 手洗い指導、身体的距離の確保、咳エチケット、その他マナー等について、事前に十分ご指導ください。

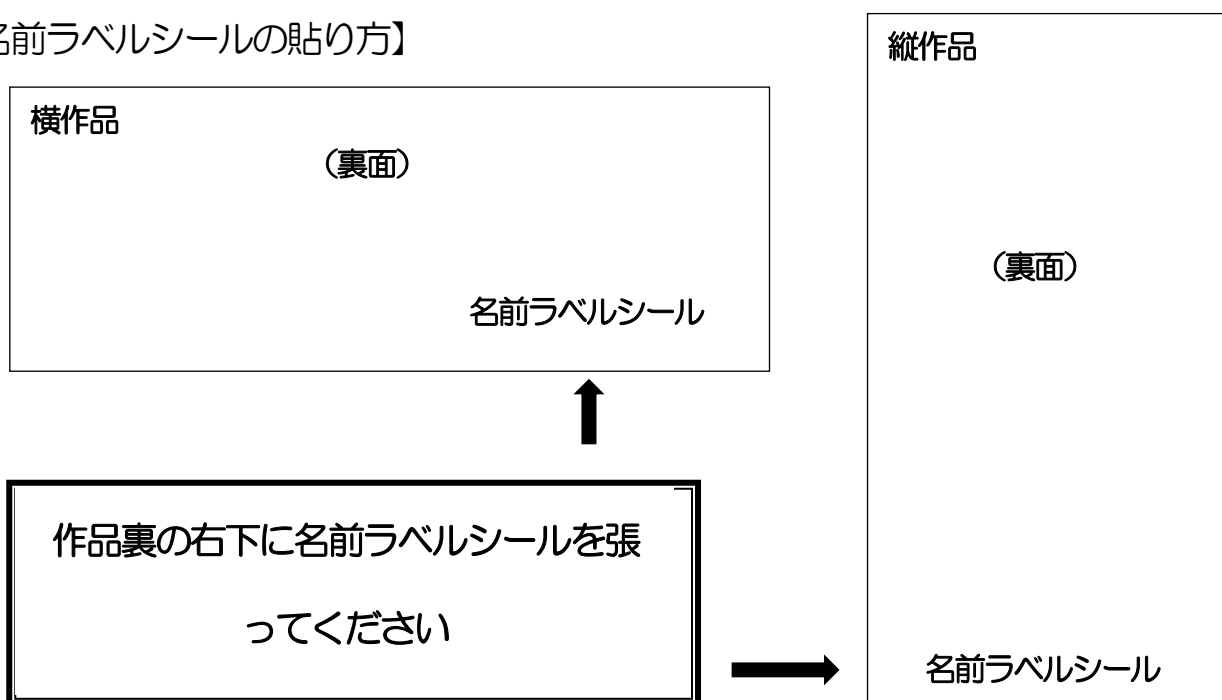
## 6 その他

- ・ ごみ回収、作品提出時の新聞紙の用意は開催県で行います。

## 作品提出上の注意事項

- (1) 提出作品の裏側右下に配布した名前ラベルシールを貼ってください。
- (2) 作品提出は、佐賀県担当職員・補助員生徒の指示に従って代表生徒の皆さんで行ってください。
- (3) 乾いていない作品については、担当職員の指示に従ってください。

### 【名前ラベルシールの貼り方】



### その他の注意事項

- (1) 昼食について
  - ① 昼食引き換えは、1階受付で行います。また昼食場所は2階観覧席です。その他の部屋や廊下・ロビーでの飲食は禁止です。
- (2) 作品鑑賞会について
  - ① 揮毫大会の作品鑑賞会は13:00から13:20の予定です。
  - ② 作品展示に時間がかかる場合、鑑賞時間が遅れることがあります。その際は係りより案内しますのでご了承ください。
- (3) その他
  - ① 反古紙は、佐賀県で回収します。
  - ② 各県のバス、自家用車、公共交通機関でこられた方は、交通事故などないように十分注意し、引率の先生の指示に従って移動ください。
  - ③ 筆・硯は会場で洗うことは出来ません。